



H30. 4. 17. №1371
静岡県漁業協同組合連合会
 ☎054-254-6011 Fax054-253-9343
 編集・発行＝指導部漁業振興課
 URL:http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/

1. 県漁協女性部大会が開催される

静岡県漁協女性部連合会（吉田朱美会長）は、3月12日静岡県コンベンションアーツセンター グランシップにおいて、「第61回静岡県漁業協同組合女性部大会」を開催しました。

当日は、参加者全員で漁協女性連綱頌及び水産物消費拡大5か条を唱和し、漁協女性部の歌斉唱の後、主催者として吉田会長が「私たちを取巻く環境は大きく変化しているが、女性特有の経営感覚やコミュニケーション能力など女性が得意とする分野を生かし、男女共同参画社会の実現を目指すべく勉強を重ね、知識・勇気と覚悟をもって漁業、水産業の発展に寄与していけるよう努力していきましょう。」と挨拶、来賓として中平英典県経済産業部水産局長、荒川邦夫県漁連会長、宮原淳一 JF 静岡信漁連会長から祝辞が述べられました。

記念式典では、内浦漁業協同組合チーム I K S の土屋真美さんが、「いけすや繁盛記～漁業の未来はチーム I K S の力で！～」と題して漁協食堂立上げから現在に至るまでの活動を事例報告しました。また、午後からは、おさかなマイスターでお魚かたりべの中部水産株式会社取締役 神谷友成氏による「魚食普及の実際」と題した記念講演が開催され、参加者は、魚食普及の活動をユーモアを交えた楽しいお話と軽快な語り口に感心するとともに熱心に耳を傾けていました。最後に大会宣言を全会一致で採択し、大会は閉会しました。

会場では昼食の時間を利用して南駿河湾漁協本所女性部・吉田支所女性部、浜名漁協女性部や県漁連・県女性連による頒布会も行われ、部員相互の親睦を深めました。

2. 県下沿海地区漁協 役員改選のお知らせ

3月に総（代）会を開催した沿海地区漁協のうち、任期満了等による役員改選を行った漁協の組合長が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

漁協名	代表理事組合長	漁協名	代表理事組合長
初 島	新藤 康晴（留）	伊 豆	佐藤 泰一（留）
戸 田	塩崎 敏巳（新）	清 水	薩川 一義（新）
遠 州	加藤 重信（留）	浜 名	河合 和弘（留）

3. 平成30年度（49期）入学式

—県立漁業高等学園—

静岡県立漁業高等学園（青木一永園長）で4月10日、新入生、保護者、漁業関係者、県担当者や学園の教職員が出席し、平成30年度（49期）入学式が執り行われました。

本年度の新入生は、年齢15～23歳で県内出身者7人（三島市、沼津市、静岡市、焼津市、

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

藤枝市、磐田市、浜松市が各1人と県外出身者12人（大阪3人、東京2人、北海道、群馬、埼玉、神奈川、長野、三重、滋賀が各1人）の計19人です。新入生はこれから1年間、次世代の県内漁業を担う幹部漁船員を目指し、全寮制の生活で職業訓練に取り組みます。

冒頭、青木園長が「限られた期間で皆さんを漁師に育てるため、厳しい指導やつらい訓練もあるかもしれないが、頑張れば必ず卒業できる。学園を楽しみながら授業や実習に全力で取り組み、充実した1年間にして頂きたい。」と式辞を述べ、続いて、荒川邦夫後援会長、中野弘道焼津市長（鈴木英明水産部次長代読）、中平英典県経済産業部水産局長の各来賓から激励の言葉が述べられました。これに応え入学生徒を代表して望月幸仁さん（藤枝市出身、18歳）が「将来を担う良き後継者となるよう努力していきます。」と誓いの言葉を述べました。

漁業高等学園は水産庁「次世代人材投資事業」（準備型）の対象校となっており新入生は要件を満たせば、就業準備資金として年間150万円の給付を受けることができます。

4. ミャンマーから実習生来日

—伊豆漁協—

外国人技能実習制度により伊豆漁協（佐藤泰一組合長）で受け入れることとなっていた、ミャンマーからの漁業実習生10人が来日しました。実習生は昨年1月に締結された協定に基づき、昨年の夏から秋にかけて研修を開始する予定でしたが、ミャンマー国内の政情不安や制度変更による駆け込み申請が増えたことなどから手続きが長引き来日が遅れていましたが、全ての手続きが整ったことから受入れ可能となりました。

受入期間は最長3年間で実習生はこれから2か月間、日本語の習得と習慣・文化や法律、漁具の作り方などの講習（座学）を受けた後、6月から実地研修として底立て延縄漁船6隻に1～2人に分かれて乗船し、一航海7～10日間のキンメダイ漁に出て漁業技術を身に付けることとなっています。

5. 本会 人事異動のお知らせ

本会では、次のとおり職員の人事異動を発令しました。（カッコ内は旧役職）
 ◇異動（昇格含） 4月1日付 ▽指導部長兼協同組合課長 青山一弘（指導部長心得兼協同組合課長）▽総務部長兼総務課長 森 真基（総務部長心得兼総務課長）▽静岡事業所長 森下 謙（静岡事業所長心得）▽温水利用研究センター所長代理 鈴木吉典（温水利用研究センター主任）▽焼津事業所主任 塚原善樹（焼津事業所担当主任）▽総務部経理課主任 鈴木康高（総務部経理課担当主任）

◇新規採用 4月1日付 ▽静岡事業所 大石明良

◇退職 3月31日付 ▽宮野裕太郎（静岡事業所）▽町田益己（指導部付）

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう